



双葉東小学校だより

令和6年 6月5日 文責 学校長 窪田 正幸

1学期も折り返し地点を迎えました

6月



6月に入り、間もなく入梅となることを思わせる日が増えてきました。関東甲信地方の梅雨入りは、平年では、6月7日ごろだそうです。気温の上昇とも相まって、季節が夏へ向かっていると感じます。

さて、1学期もスタートして2ヶ月がたち、折り返し地点を過ぎました。教室での学習はもちろんのこと、校外に出かけて行う見学学習等も予定通り行われ、子供たちは、日々意欲的に学校生活を送っています。一人一鉢で育てている1年生の朝顔や2年生のトマトも、子供たちの毎朝の水やりのお陰で、グングン育っています。

梅雨の湿気を伴う体調不良とともに、熱中症も心配となる時期。一番心配なのは子供たちの健康です。学校でも細心の配慮を行っていきたいと思います。元気に6月を過ごせるよう、ご家庭でも健康管理につきましてご協力をお願いします。

実らせよう! 東小のにこにこの実



標題の言葉は、今年度の児童会活動のスローガンです。児童会本部が中心となって、今年度の双葉東小の目指すべき目標と、達成のための取組について考え、3年生以上の児童全員で話し合う児童総会が開かれました。東小みんなの心と力を合わせ、「あいさつ・思いやり・けじめ・なかよし」を大切にすることで、にこにこの実で一杯の学校にしていくことが決定されました。

「よい学校」は誰かが与えてくれるもの……ではありません。自分たちの力でつくるものです。児童会活動では、自分たちの力で自分たちの生活を良くしていく経験をたくさん積ませたいものです。そのためにも、「みんなで決めてみんなで取り組む」姿勢が大切です。動き始めた児童会活動。これから様々な取組が始まります。一人一人が、自分ごととして取り組み、東小が「にこにこの実」で一杯になることを願っています。



安全な水泳学習に向けて

今年も水泳シーズンが始まります。水泳学習に先立ち、クライシスマネジメントとして、心肺蘇生法、AEDや担架の使用法等について学ぶ研修を行いました。水泳に限らず、学校生活の中で万が一の事態に備えての職員研修です。私自身、こういった研修をこれまで何回も受けてきましたが、そのたびに、子供たちの安全を守っていく責任の重さと同時に、こういった事態に陥らないためのリスクマネジメントの大切さを痛感してきました。

水泳学習では各学年の発達段階に応じてそれぞれの学習目標が定められていますが、各学年共通の目標は『水泳運動の心得を守って安全に気を付けること』です。水の中では心身ともに開放的になりやすく、ちょっと羽目を外してしまいがちです。それが思わぬケガや事故に繋がりがかねません。学校では、水泳学習を通して水に慣れ親しむとともに、水中での安全や水の事故を未然に防ぐための心得や実践力も身につけられるよう指導していきたいと思ひます。



